

confidential

# DSAT紹介資料

2023年 2月  
Ver.3.1



株式会社アイデミー

## アジェンダ

---

1. DSATとは
2. DSATで実現できること
3. アセスメントテスト種類（4つ）
4. テスト概要
5. 点数別のスキルレベル
6. テスト結果の確認（受験者・管理者向け）
7. DSATご利用フロー
8. Appendix：管理画面でのテスト付与

## DSATとは

---

ディーサット

# DSAT

Digital Skill Assessment Test

アイデミー独自開発

---

## デジタルスキルを総合的に 評価できるアセスメントテスト

★無償ライセンスユーザーも期間限定で利用可能

\*無償期間終了日時については、現在のところ未定となります。

# DSATで実現できること

---

現状の  
スキル可視化

DX人材  
の発掘

人材育成計画  
の立案/見直し

学習効果  
の測定

DX人材の  
適材配置

スキル別  
人材の分析



# アセスメントテスト種類 (4つ)

## Standard

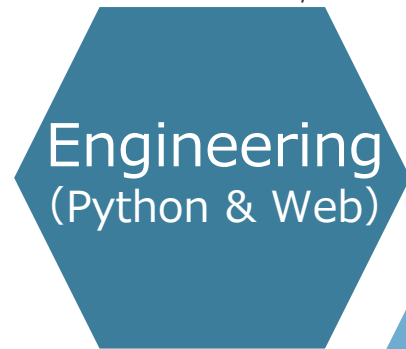


デジタルリテラシーの知識の  
理解を問うテスト

出題概要

ビジネス・ITの基礎知識、  
AI・データサイエンスに関する基礎知識

## Advanced



エンジニアリングに必要な  
スキル・知識の理解を問うテスト

出題概要

\*コーディング能力をはじめ、システムアーキテクチャ  
設計知識やシステム開発手法に関する知識



デジタルを活用したビジネス企画立案に  
あたり必要となる知識の理解を問うテスト

出題概要

ビジネスのプロセス・手法や、価値算出方法など、  
ビジネス基礎・企画知識からプロジェクト推進  
に関する知識（出題内容は必ずしもデジタルに限定し  
たものではありません。）



データサイエンティストに必要な  
スキル・知識の理解を問うテスト

出題概要

アルゴリズムの基礎知識から、最新の応用技術知識に関する知識

# テスト概要

**受検方式**      オンライン  
 (Aidemy Business テスト機能にて受検)

**試験時間**      30分

**出題形式**      全40問, 四択一  
 (出題問題・出題順はランダム)

**出題難易度**      ITSSのレベル1~3相当



## スキルの可視化

点数別に3つのlevelに分類され、受験者のスキルが可視化。

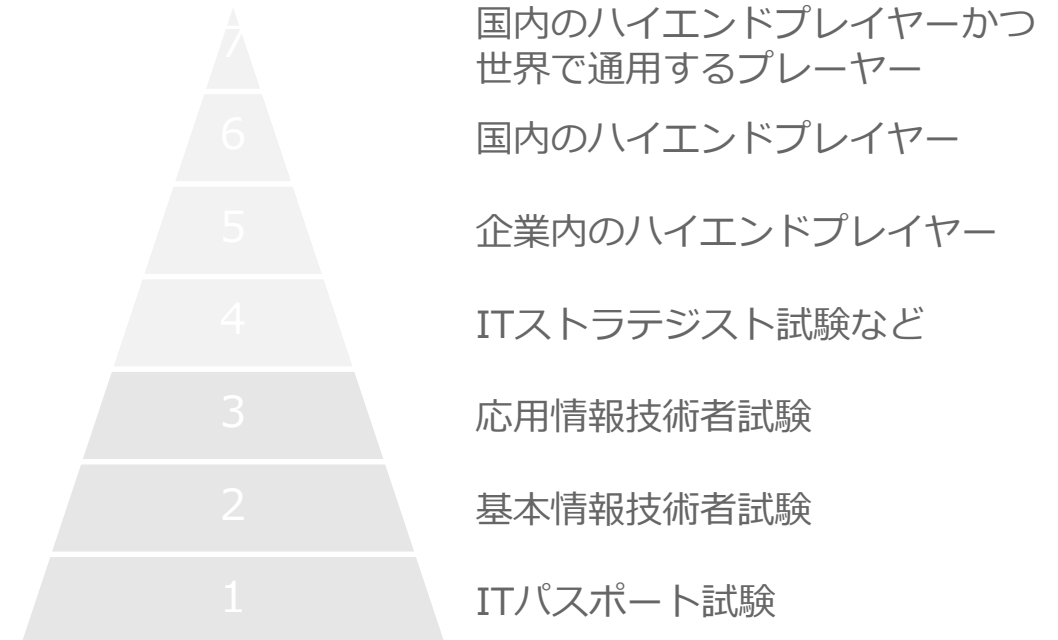
~15点 Level 1	16~31点 Level 2	32~40点 Level 3
-----------------	-------------------	-------------------

※テスト要項は別紙でご用意しております。

## ITSS (IT skill standard) とは

経済産業省が策定した  
 IT人材に対するスキル体系「ITSS (ITスキル標準)」

### スキルレベル目安



参考：独立行政法人情報処理推進機構 社会基盤センター 人材プラットフォーム部  
 経済産業省「ITスキル標準V3 2011, 1部：概要編」



# 点数別のスキル - Standard(DX Basic)

デジタルリテラシーに含まれる4分野：

1. IT・ソフトウェア, 2.数理・データサイエンス, 3.人工知能(AI)・ディープラーニング, 4.AIに関する法律やDX動向といったビジネス関連

Level	 スキルイメージ	 ネクストステップアドバイス
1	デジタルリテラシーの知識習得が必要である。	デジタルリテラシーに関するIT・ビジネス知識の取得を目指しましょう。ビジネスにデジタル技術を活用していくためには、デジタルリテラシーに含まれる4分野の幅広い知識が必要です。
2	最低限のリテラシーはあるが、業務にデジタル技術を活用するための知識にやや偏りや不足がある。	デジタルリテラシーに含まれる4分野のなかで、知識が定着していない分野を把握し、その分野の知識定着を重点的に目指しましょう。
3	デジタルリテラシーが身につけており、業務にデジタル技術を活用するために必要な知識・技能を有している。	身につけたデジタルリテラシーを用いて、実践研修や実案件での経験を積み、より実践的なスキルを身につけていきましょう。自らのスキルを活用することで、業務上の課題の発見と解決をリードできる立場を目指しましょう。

# 点数別のスキル – Business Planning

Level	 スキルイメージ	 ネクストステップアドバイス
1	デジタルビジネス・ビジネスモデルに関する基礎的な知識習得が必要である。	社内社外問わず、デジタル事例やビジネスモデルの内容に触れる機会を増やして、基礎知識をつけましょう。デジタルビジネス・ビジネスモデルに関しては、「システム戦略システム企画」「戦略マネジメント」「法務」「セキュリティ」等幅広い分野を網羅しておく必要があります。
2	最低限のデジタルビジネス・ビジネスモデルの知識はあるが、知識にやや偏りや不足がある。	「システム戦略システム企画」「戦略マネジメント」「法務」「セキュリティ」等のなかで、知識が定着していない分野を把握しましょう。また、一つのビジネスモデルやKPIの構成など、断片的な知識をつなげて、用語一つひとつが紐づくように学びを深めましょう。
3	デジタル技術を活用した基本戦略の策定・提案・推進を遂行するための主な知識を有している。	デジタルビジネスは、新しい技術・サービスやユースケースが常に生まれてきます。継続的に情報収集を行い、適切なタイミングでビジネスの企画を行えるように備えるとともに、自らのスキルを活用することで、業務上の課題の発見・解決をリードできる立場を目指しましょう。



# 点数別のスキル – Engineering(Python&Web)

Level	 スキルイメージ	 ネクストステップアドバイス
1	<p>プログラミングの基礎的な知識習得が必要である。</p>	<p>Pythonを用いたプログラミングの基礎能力を身に付けましょう。また、代表的な開発手法の特徴について、説明できるようになりましょう</p>
2	<p>基礎的なプログラミングの知識があるが、知識に偏りがある。</p>	<p>システム開発に必要なフレームワークや開発手法を学び、知識を実践できる状態に引き上げていきましょう。また、類似したフレームワークや開発手法について、それぞれのメリット・デメリットを説明できるようになりましょう。</p>
3	<p>Pythonを用いたWEB開発を行うための主な知識を有している。</p>	<p>実践経験を重ねて、スキルアップを図りましょう。自分が欲しいと思うシステムの開発にチャレンジしましょう</p>

# 点数別のスキル – Data Science

Level	 スキルイメージ	 ネクストステップアドバイス
1	<p>データサイエンスの基礎的な知識習得が必要である。</p>	<p>基本的なデータサイエンスの技術や、その使い所を理解するため、DS検定やG検定にチャレンジしましょう。</p>
2	<p>基礎的なデータサイエンスの知識はあるが、知識に偏りがある。</p>	<p>データサイエンスの各技術について、数式などにも触れながら、より理解を深めましょう。</p>
3	<p>データ分析や機械学習を行うための主な知識を有している。</p>	<p>実践研修や実案件で経験を積み、知識を深めましょう。変わりゆく最新技術を追えるように、興味のある分野を中心に情報収集をしましょう</p>

# テスト結果の確認

**受験者** 受験画面上で、各問題の正誤結果が把握できます。

マイページ>テスト一覧画面

## DSAT DataScience

データサイエンティストに必要なスキル・知識の理解を問うテストです。  
出題範囲はアルゴリズムの基礎知識から、最新の応用技術知識に関する知識まで幅広く出題されます。

マイページ > DSAT DataScience

**テスト受験期限**  
2032年5月31日

**受験前の確認事項**

- ・ 受験は原則一度です。何度も受けることは出来ませんのでご注意ください。
- ・ 再テストを希望される際は御社の管理者へお問い合わせください。

テスト結果 (正誤確認) >

不合格 : 13 / 20点 (2022年12月15日受験)

テスト結果確認画面

マイページ > DSAT DataScience > テスト結果 (正誤確認)

問1

「次元圧縮 (または次元削減)」に関する記述として最も不適切なものはどれか。

次元圧縮は機械学習における分類タスクでは用いられるが、回帰タスクでは用いられない。

次元圧縮によってデータ間の距離や類似度を計算する際の計算量の削減が見込まれる

次元圧縮によって高次元のデータを2次元または3次元まで落とし込み、データの分布を可視化できるようにする

ニューラルネットワークの一種であるAutoencoder (自己符号化器) では、次元圧縮が特徴抽出の役割を担っている

問2

ある病気に罹患している (陽性) か、罹患していない (陰性) かを判定するAIモデルを作成する際、再現率 (Recall) を現実的な範囲で高くするための工夫として、最も適切なものはどれか。

極力全てのサンプルを「陽性」と判定する。

極力全てのサンプルを「陰性」と判定する。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○

問題ごとの正誤確認

正誤結果一覧

# テスト結果の確認

 **管理者**      テスト結果はCSVで確認ができます。(管理画面>テスト>テスト受験者管理からCSV出力)

## CSVで確認できる内容①

メンバー名	テスト名	得点	満点	正答率(%)
田中 太郎	DSAT DataScience	13	20	65

## CSVで確認できる内容②

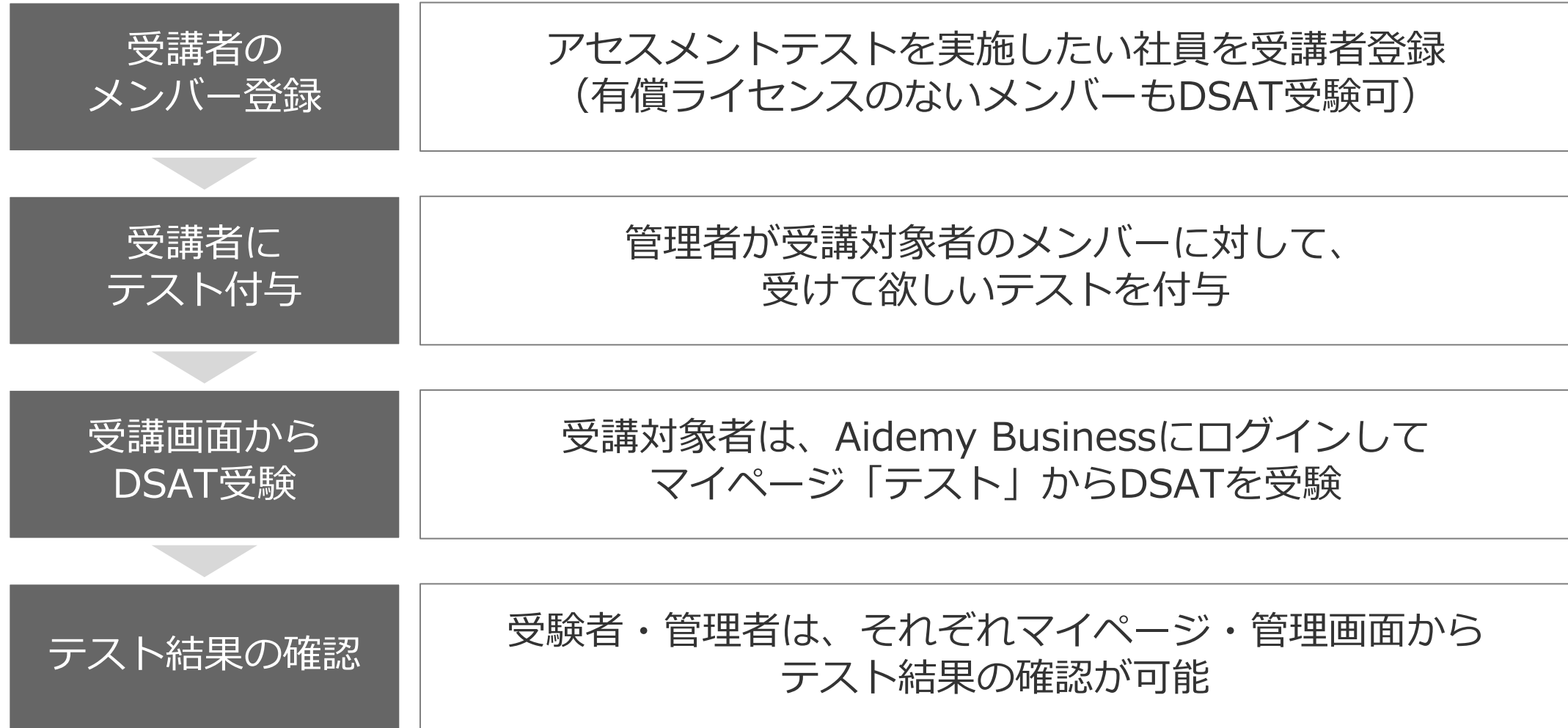
得点： 大分類A	満点： 大分類A	得点： 大分類B	満点： 大分類B	得点： 大分類Aの中分類①	満点： 大分類Aの中分類①	得点： 大分類Aの中分類②	満点： 大分類Aの中分類②

テスト要項の大分類ごとの  
得点・満点

テスト要項の中分類ごとの  
得点・満点

## DSATご利用フロー

Aidemy Businessのテスト機能を使い、DSATのテスト付与・受験が可能です



## 価格体系

---

**Aidemy Business**  
契約企業様

無料（期間限定）  
（追加料金なしでDSATをご利用いただけます）  
\*無料期間終了日時については、現在のところ未定となります。

**Aidemy Business**  
未契約企業様

15万円/月  
（人数制限2,000名まで/2,000名以上の場合は要相談）

## Appendix : 管理画面でのテスト付与



# テスト付与方法（個別）

左メニューの「テスト」>「テスト受験者管理」の画面にて、テスト付与をします。受験者は付与されたテストをマイページから受験できます。

- 1 付与したいテストを選択します。  
 ※DSATの各「最新版」をご選択お願いします。  
 ※「受験期間・合格ライン」は自動反映されます。  
 内容を変更する場合、青字「設定」ボタンを押下して「テスト設定」画面から変更できます。
- 2 テスト付与のチェックボックスにチェックを入れた後、下部の確定するを押すことで、テストを付与できます。
- 3 一度テストを受けたメンバーには再テストを実施できます。
- 4 複数人のテスト一括付与ができます。詳細は次ページに記載。



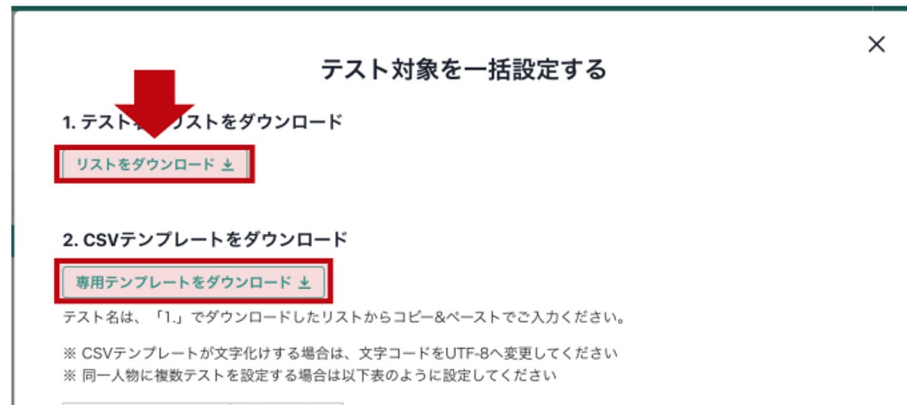
# テスト付与方法（一括）

## 1. CSVテンプレートをダウンロード

- ①左メニューの「テスト」>「テスト受験者管理」の画面  
右上「テスト対象一括設定（CSV）」ボタンを押下。



- ②「リストをダウンロード」と、  
「専用テンプレートをダウンロード」を押下。



## 2. ファイルのアップロード

CSVテンプレートに受講者メールアドレス・テスト名を  
入力し、アップロード。「設定する」ボタンを押下。

※「テスト名」は、②でダウンロードしたリストからコピー&ペーストで  
ご入力ください。





**Aidemy**